



「さあ、みんな暖かくなった？」 シモンが聞きます。
「まだ、ガチガチ、でも、このショーツは僕に似合ってると思うよ、ガチガチガチ。」
いつも寒さに凍えているアナグマがこたえます。
「本当にとっても素敵。」 ウサギが付け加えます。「でも・・・」
「僕、まだ寒いよ！」 クマが文句を言っています。

長く静まり返った後、シモンがはっきりと言いました。

「みんな、まだまだ暖かくないみたいだね。」
「ホオオラヨ（そうだよ）！」 ヘーゼルナッツを食べながらリスがこたえます。
「何かほかに出来ることがないか考えてみましょう。」
と、ルーシーも提案します。

そして、子供たちは地図をのぞき込みながら、どの道を行くか考え出しました。森は広大で、動物たちは寒がっています。注意深く地図を見ながら、ソックスの泉に行くことに決めました。

じゃあ、出発！それぞれショーツを着て、雪の中に足跡を残しながら、みんなで森をどんどん進みます。粉雪の中を歩く小さな足を守ることができるというアイデアにみんなは嬉しくなり、楽しい雰囲気です。

少し歩くと、道の終わりに川が見えてきました。
ソックスの泉にたどり着くためには、流れる水を渡る以外に方法はありません。川岸で立ち止まり、仲間たちは考えこんでいます。

「泳いで渡ろう！」 水遊びが好きなガチョウが提案します。
「水は冷たいよ。」 水の中に足をつけてみたハリネズミが言います。
「僕、氷水の中には潜れないよ。濡れるし・・・それに、泳げないんだ。」 クマがぶつぶつと言います。
「じゃあ、橋を建てたらどうか？」 いつも樂觀的なウサギが言い出しました。
「工事が終わる前に冬が終わるよ。」 ピンクのブタがもっともなことを言い返します。
「ねえ、あれ見て？」 大きな枝を指差しながらシモンが叫びます。
「この枝の山で何がしたいの？」 ルーシーがたずねます。

3 のステッカーをここに貼ってね!

ステッカーはLINEでお友だちになると
プチバトーのお店*でもらえるよ!

LINE ID:petitbateaujp

(*アウトレット店除くプチバトー直営店舗)

そうです・・・この木の枝で何が出来るかな?
プチバトーのサイトからヒントを見つけてね!

➡ <http://www.petit-bateau.co.jp/>